

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 7 年 5 月 7 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470104484		
法人名	医療法人社団 江島医院		
事業所名	グループホームもみじの里		
所在地	広島市南区宇品御幸1丁目11-9 (電話) 082-253-0067		
自己評価作成日	令和7年4月5日	評価結果市町受理日	令和7年6月23日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigvosyoCd=3470104484-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和7年4月25日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>コロナが5類になりましたが引き続き感染予防に力を入れています。外からの入室時は必ず玄関で手の消毒・検温を行い、手の触れる場所等の消毒も毎日欠かさず行っています。外部からの感染があったため、現在も面会は週1~2回程度にして頂いています。今年度も手作りの食事に力を入れています。天ぷらやお刺身の日を作ったり、新鮮な食材を使ったメニューを取り入れ、季節を感じて頂けるように心がけています。食が細かい方には、好きなメニューや高カロリー食などを体重管理が必要な方にはヘルシーなメニューを追加したり、その方に合わせたお食事を取り入れ召し上がって頂いています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所理念「一人一人の尊厳を守り、豊かで素晴らしい人生を送って頂く」をもとに目標とスローガンを掲げている。さらにミーティングや日ごろの業務内で出た意見を、毎月の目標とし職員に周知するよう掲示している。利用者の生活は最大限の可能性を見極め、できることが継続して行えるケアに努めている。3食手作りの食事は、実際に調理したり、味見、盛り付け、皿拭き、テーブル拭き等の役割を持って活躍でき楽しく生活できる工夫がある。医療面は多科往診の回数が充実しており、医師からの健康に対するコメントを毎月お便りと共に家族に送り安心できる生活に努めている。2か月ごとの運営推進会議は事業所の取り組みや報告事項などに加え、他事業所と有事の際の協議をし、課題共有や情報共有できる会議になるよう工夫して実施している。</p>
--

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ご利用者様お一人おひとりの尊厳を守り、豊かで素晴らしい人生を送っていただけのような理念を見えやすいところに掲示したり、業務やミーティングを通して共有し、話し合いを持ち日々実践できるよう心がけています。今年度も毎月、目標を設定し、より実践しやすいようにしています。	事業所理念「一人一人の尊厳を守り豊かで素晴らしい人生を送って頂く」をもとに実践に努め、ミーティングや業務中に出た意見を毎月の目標策定に反映している。管理者は職員個々の技量や状況に合わせ指導を意識している。ベテラン職員は人材育成に努め理念実現に向け取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入り近隣の方々と交流できるよう努めています。今年度もお祭りに参加させていただいたり、地域の大正琴のボランティアの方に来ていただき演奏をしていただきました。	町内会に入会し、監事の役職を務めている。地域のお祭りの飾りづくりを担い参加している。地域の大正琴ボランティアを継続して受け入れることで交流できる時間を設けている。散歩に出かけた際に昔の知人に出会った時は、事業所に立ち寄るよう声かけを促している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議などで認知症の方の色々なケースや問題点、接し方等をお話させていただいています。また、随時電話等の相談を受けたり、いつでも気軽にホームを見学していただけるように対応しております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回、町内会長や副会長また地域包括支援センターの方や管理薬局の薬剤師の方、スタッフ、施設長等が参加しホーム内の報告や意見交換を行っています。会議で話し合った内容を検討しホームの改善に役立てています。	町内会長、副会長、地域包括支援センター職員、薬局薬剤師、施設職員の参加があり、取り組みや報告事項を共有している。時には他事業所と有事の際の机上訓練や協議を行い、課題を共有している。事業所が相談窓口になったり薬剤師からのアドバイスで服薬方法を変更した事例がある。	運営推進会議に利用者や家族の参加がない。参加ができるよう検討を行い、本人や家族の視点からの話や実際に関わる方への情報提供、意見を聞くことで参加者それぞれの立場での視点を元に意見交換や議論を進展させ、サービスへの反映や向上に活かすことを期待する。
5	4	○市町との連携 市町担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括支援センターの方に地域のお年寄りの方の情報や地域のボランティアの方をご紹介いただいています。また同じ区のグループホームの方との話し合いの場を作っただき意見交換をさせていただいています。	南区区役所職員と連絡を取り、介護保険上の解釈や制度などを確認している。サービスケア内容に困っている時は、類似した実践事例がないか情報を集めている。日常的に地域包括支援センターを始め、病院や他事業所からも利用相談があり適宜連携している。	

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>夜間の職員の体制が少ない時間帯以外は、玄関の施錠はせずご利用者様がご自分の家庭のように自由に生活出来るように心がけています。身体拘束適正化のための指針を作成し運営推進会議内で身体拘束廃止委員会を設立しています。</p>	<p>マニュアルや指針を作成しどのような内容が身体拘束にあたるか明記している。研修資料を作成し、資料を確認しながら自ら日頃のケアを振り返りレポート提出する機会がある。玄関の施錠はせず夜間のみ防犯の観点から施錠するようにして身体拘束しないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>継続的に外部研修（リモート）に参加し、その資料を利用しミーティング等で話し合いをしたり、虐待や拘束にあたる内容を職員全員で確認できるようにしています。また、職員にむけてのアンケートを行い自己評価してもらう機会をつくっています。高齢者虐待防止のための指針に従い業務に当たるようにしています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>資料などを入手し、必要時には関係者と話し合い、支援を行っています。現在、1人の入居者の方に後見人の方がつかわれています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約に関してはご利用者様やご家族に入所時に説明を行い、ご理解いただくよう努めています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族にお電話でご要望をお聞きしたり、ご意見箱を設置したり、面会時や運営推進会議でも直接ご意見やご要望を聞かせていただいています。聞かせていただいたご意見はできるかぎり反映させていただいています。</p>	<p>利用者の意見は日常の関わりの中から「〇〇が食べたい。」「〇〇に行きたい」など伺い、できる限り実現できるようなケアに取り入れている。家族には電話や面会などの機会に聞いている。退所時に家族にアンケートを実施し、ケアについての改善点を今後活かせるようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	1ヶ月に1度のホーム全体のスタッフミーティング等で職員の意見や提案を聞き、できるかぎり反映できるように心がけています。	1か月に1回ミーティングを実施して意見交換している。業務中も意見や提案があれば聞いている。職員の意見で介助方法の検討や夜勤時間帯を変更した事例がある。資格取得については費用面も補助があり積極的なサポート体制がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の努力や実績、勤務状況を把握しそれをもとに個々に評価するように努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	各自のレベルに合った研修に積極的に参加を促し資格(介護福祉士・介護支援専門員)を習得するようにアドバイス・援助もしています。外部研修を受けるばかりでなく、日頃のケアを見直すきっかけとなるように先輩から後輩にアドバイスしたり、本や研修動画などを使って勉強するように心がけています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域包括支援センター主催で同じ地域のグループホームの方との話し合い、意見交換をさせていただいています。今年度は地域のサービス事業所と災害時の机上訓練を行い地域の連携を図っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入所前にご本人やご家族に面会し普段の様子やご要望など細かくお話を伺っています。また、入所前の担当のケアマネジャーの方や主治医の先生にも情報をたくさんいただけるようにご協力いただき、職員間で情報を事前に共有し安心して入所いただけるように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入所前よりご家族からご要望等を伺い、何度も話し合いをしてより良い信頼関係が築けるよう努めています。入所にあたり不安がぬぐい取れない場合には、仮入所の導入もしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入所前にご本人やご家族に面会し普段のご様子やご要望など細かくお話を伺っています。また、入所前の担当のケアマネジャーの方や主治医の先生にも情報をたくさんいただけるようにご協力いただき、職員間で情報を事前に共有し安心して入所いただけるように心がけています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご利用者様と一緒に時間を過ごしながら喜怒哀楽を共にし、また人生の先輩として色々教えていただきながら暮らしを共にする者同士の関係を築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご利用者様により良い支援が出来るようご家族と職員とのカンファレンスを行いご要望やご意見を伺いケアプラン等に活かしています。面会時にも色々なご意見やご要望を伺っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族のご協力のもと自宅へ外出や外泊、またスタッフと近所のスーパーへの買い物や時にはご自宅周辺へ出掛けられるよう支援しています。またホームへ近隣のお友達やお知り合いの方に気軽に遊びに来ていただくようにお声かけをさせていただいています。	利用開始前に家族、利用者と面談し馴染みの関係を把握している。家族の協力を得て外出を勧めている。散歩や買い物に出かけ、自宅周辺をドライブすることがある。近所の知人に出会った時は話をする時間を設け、馴染みの関係が途切れないように努めている。	

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	毎日の日課として出来る方を中心に家事へ参加していただいたり、2F、3F共同でレクリエーションをしたり、フロアを気軽に行き来できるよう心がけています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了しても必要に応じてお手紙・電話等にてご連絡をし、またご要望があればいつでも支援できるように努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お一人おひとりの生活スタイルを大切にその方に合わせた日課の構築に努めています。常にご本人様の立場になって考えられるよう努めています。	日常の会話の中で好きなものや趣味等聞き取り把握している。コミュニケーションが難しい利用者は、利用開始前に情報や家族からの情報を参考に本人本位の生活になるよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時よりご本人様のこれまでの生活歴等できるだけたくさんの情報収集を行ったり、日々の生活の中での会話でお好きな物や趣味などを伺い、毎日の生活に活かせるよう配慮しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	職員は毎日の生活の中でバイタルや水分・食事量や排便のチェックによる健康管理を行い、観察等により心身状態を把握するように努めています。		

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要の関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画は入所時より定期的に作成しています。ケアカンファレンスにはご本人、ご家族、主治医、薬剤師等の意見を反映させ、状況に応じて話し合いを設け柔軟に変更できるようにしています。</p>	<p>介護計画作成では、できるだけレベルを落とさず役割を取り入れながらできるところが継続して行える生活が送れるように心がけている。計画作成者が毎月モニタリングを行い、見直しを適宜利用者や家族と共有している。状態に合わせて家族や関係者と話し合い介護計画を変更している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子をしっかりと把握できるよう薬、歩行状態、体調の変化等を記載し職員間で情報を共有し、より良いケアの実践に活かしています。また一ヶ月毎にモニタリングを行い、介護計画の見直しに活かしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>母体の医院と連携をはかり、必要時に往診や通院も出来るようにしています。その他にも(整形外科・皮膚科・歯科・眼科)などの多様な科の先生に往診していただき診察していただいています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>町内の方にお手伝いいただいて行事を行ったり、町内主催の催し物に参加させていただいたりしています。また同じ区の警察や消防の方とも連携をはかり安全に生活できるよう支援しています。今年度は地域のお祭りに参加させていただきました。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご利用者様、ご家族様の納得された先生に主治医になっていただいています。母体の医院や歯科医、整形外科医、皮膚科・眼科の往診も定期的に行われています。又、必要に応じて受診の支援もしています。</p>	<p>家族希望で事業所の協力医療機関に変更しているが、既往によっては利用開始前の専門医を受診するケースもある。事業所には内科、歯科、整形外科、皮膚科、眼科の訪問診療が定期的にある。毎日内科の医師と情報共有している。認知症については心療内科に受診しアドバイスをもらっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	母体の医院にご利用者様の情報を1日1回送り、主治医の指導をうけ健康管理をしています。職員はいつでも母体の医院に相談出来る体制が整っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が安心して治療を受け早期に退院できるように母体の医院と入院先の病院との連携が出来ており、職員も指導を受けながら受け入れの体制を整えています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ホーム入所時にご家族にターミナルケアについてお話をしています。また重度化した場合、主治医よりご家族へ状況説明を行いご家族の意向をお聞きし今後の方針を決めさせていただいています。	看取りに関する指針を重要事項説明書を用いて利用開始時に説明している。重度化した場合は主治医と家族と職員で話し合いの場を設け、家族の意向を把握している。主治医の指示に従いながら事業所でする範囲のケアに努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変の場合は必ず母体の医院に連絡し支持を仰ぎ、往診もしていただいています。またAEDを設置し緊急時に使用できるようにになっています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	ホームでの火災訓練は年2回行っています。町内会と災害相互応援協力協定書を交わし災害時の協力体制を強化しています。3月に地域の介護サービス事業所と災害時の机上訓練を行いました。	火災訓練を年に2回実施している。利用者も参加し避難経路の確認をしている。町内会と災害相互応援協力協定書を交わし、協力体制を築いている。職員には地震や火災時の行動フローを壁に貼り周知している。同地域の事業所と災害時の合同机上訓練を行い、課題を共有している。	

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お一人おひとりを尊重し、言葉かけや対応についても親しみの中にも節度ある言葉遣いを心がけたり、誇りやプライバシーを損ねないように十分に配慮するようにしています。	一人ひとりに伝わりやすい方法で言葉かけを工夫している。カードを使用しわかりやすく伝える工夫をしている事例もある。利用者が自己決定しやすいよう選択肢を準備したり、一緒に決めることができるよう配慮をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	いろいろな場面でご本人の思いや希望をお聞きし、日常を送っていただくようにしています。難聴などによりコミュニケーションが難しいご利用者様にも、筆談やスキンシップをはかり、思いや希望を表せるように働きかけ、自己決定出来るように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	お一人おひとりの生活リズムを把握し、起床や就寝時間もその方のペースに合わせて、お食事の時間も変更しゆっくり食べていただけるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	お化粧・髭剃り・整容・ネイルケアなど、その方にあった支援をしています。理・美容院についても、希望時になじみの美容院へ行っていただいたり訪問美容の方に来ていただいたりしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の盛り付けや味見、後片付けなどに参加していただいています。主食はご飯やお粥、またパンなど個々に合わせたお食事をご用意させていただいています。また嚥下の良くない方にはミキサー食を提供しています。ご利用者様のリクエストを伺いメニューに反映させています。	3食手作りで提供しており、食事の匂いや調理の音が聞こえ楽しみになっている。食材を切る、調理、味見、盛り付け、皿拭き、片付け、テーブル拭き等利用者の力を活かしながら食事に取り組んでいる。全て手作りのため、体調や嗜好に合わせ個々のアレンジがしやすいメリットがある。	

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	毎日新鮮な食材と食べやすい食材を使用 して味や栄養バランスを考えて手作りし ています。水分補給については、毎日何 をどのように摂取されたか嗜好も考慮し 水分管理表を作成し記載しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	歯科医師とも連携をはかり、お一人おひ とりに合わせた口腔ケアに関する指示を いただき利用者様と一緒にケアに取り組 んでいます。義歯洗浄剤使用も個別に合 わせて対処しています。1ヶ月に2回歯 科の往診で専門的な口腔ケアをしてい ただいています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	職員は個々のご利用者様の排泄間隔やパ ターンを理解し、夜間も出来る限りトイレ での排泄を心がけています。また、排 泄時にプライバシーに配慮した声掛けや 介助を行っています。	利用者の排泄パターンをタブレット入力 し把握に努め、プライバシーに配慮しト イレへ誘導している。退院時は紙おむつ を使用していたが、排泄パターンを把握 することでトイレでの排泄に移行できた 事例もある。夜間もトイレで排泄ができ るよう個々に合わせて声かけ介助をして いる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便表を作成し個人記録と共に毎日 チェックしています。軽い運動や排便に 繋がる飲食物の提供などお一人おひと りに合った支援を行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	順番や曜日等決めず、お一人おひとりの ご希望を取り入れながら入浴して頂ける ように支援しています。季節を楽しんで 頂けるようにゆず湯を実施したり、入浴 剤なども使用しています。入浴のない日 には足湯をしていただいています。	3日に1回は入浴できるよう予定を立て 入浴している。希望があれば毎日でも入 浴可能である。その日の予定やその時の 気分に合わせて入浴日時を柔軟に変更対 応している。ゆず湯や足湯を楽しめる工 夫がある。重度化した場合もドライシャ ンプーを活用し、気持ちよく清潔に過ご せる支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の生活習慣に合わせ、夜間のみでなく日中も安心して休息出来るように対応しています。体調不良時にも、少しでも安楽に過ごせるように室温や湿度等の管理も行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	一週間のお薬をお薬カレンダーで管理し、全職員が確認できるようにしています。また、既往歴や服薬内容は個別ケースに管理し情報の共有が図れるようにしています。毎週、薬剤師に個々の服薬状況・体調確認などを行っていただいています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ご本人様の生活歴や力を活かせる役割をもてるように支援しています。出来る限りご本人のご希望や趣味に合わせ、お散歩や日光浴、塗り絵や手芸、脳トレや料理等をしていただいています。また生け花教室を開催しお花のお好きな方に参加いただいています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	お一人おひとりのご希望に合わせて、近所に買い物に出かけられたり、屋上や近くの公園へ散歩に出かけたり、平和公園や宇品港などへドライブに出かけたりもしています。また帰宅願望のある方には家の前まで一緒に行き、安心につながる様に支援しています。	家族と共に外出できるように家族の協力を促している。買い物や近所へ散歩に出かけている。天気の良い日は屋上にあがり、洗濯物を干したり、畑の野菜を収穫し気分転換をしている。コロナ禍前に訪れていた場所にまた行くことができるよう計画中である。	季節ごとに訪れていた関係先が新型コロナウイルス感染症流行により途切れてしまっているため、外出機会がほとんどない。外出機会が設けられるよう関係の再構築をして外出を増やし、利用者が外出を楽しむことができるようになる事を期待します。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	現在はご自身がお金を持たれている方はいらっしゃいませんが、ご本人様が安心してご自分でお買い物ができるように職員が支援しています。		

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人様のご希望時にご家族に電話をかけたり、お手紙を出せるように支援しています。ご本人様が携帯電話を持たれている方は自由にお電話していただいています。また、毎月写真等も添えてお手紙をご家族へ送り、ご利用者様の様子をお伝えしています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関や廊下の壁面を利用し季節感を感じられるように飾りつけを行っています。ご利用者様のくつろぎの場所である食堂やソファ等の共用の空間は換気や湿度調整を行い、音楽を流し、快適にリラックスして過ごしていただけるようにしています。	日課に沿ってリビングで過ごして頂いている。気の合う利用者同士でソファに座り会話を楽しむ場面がある。フロア入り口には個々に生けた生け花作品や写真を飾り季節感のある空間を作っている。塗り絵など個人活動もできる時間が設けてある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	廊下のソファや食堂席を上手に利用し、独りになられたり、気の合った利用者同士で過ごしていただけるように工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入所時にご自宅で使い慣れた物を持参していただいたり、ご家族の写真を飾っていただいたり、ご自宅の住み慣れたお部屋により近い状態で過ごしていただけるように工夫しています。	利用開始前に過ごしていた環境に近い状態になるよう家族と相談している。自宅で使い慣れたものを持参して、過ごしやすいうように工夫している。利用者の状態に合った福祉用具がレンタルできるようアドバイスしている。居室に入室する時は必ず了解を得て入室している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	廊下やトイレには手すりを設置し、ホーム全体がバリアフリーの配慮をしています。個々の居室入口に目印をしたり、トイレや洗面所にも案内プレートを設置しご利用者様が迷われないように工夫しています。		

V アウトカム項目(2Fユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ご利用者様お一人お一人の尊厳を守り、豊かで素晴らしい人生を送って頂けるよう理念を見えやすいところに掲示したり、業務やミーティングを通して共有し、話し合いを持ち日々実践できるよう心がけています。今年度も毎月、目標を設定しより実践しやすいようにしています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	町内会に入り近隣の方々と交流できるよう努めています。今年度もお祭りに参加させていただいたり、地域のボランティアの方に来ていただき演奏をしていただきました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議などで認知症の方の色々なケースや問題点、接し方等をお話させて頂いています。また、随時電話等の相談を受けたり、いつでも気軽にホームを見学していただけるように対応しております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回、町内会長さんや副会長さんまた包括センターの方や管理薬局の薬剤師の方、スタッフ、施設長等が参加しホーム内の報告や意見交換を行っています。会議で話し合った内容を検討しホームの改善に役立てています。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括センターの方に地域のお年寄りの方の情報や地域のボランティアの方をご紹介いただいたりしています。また同じ区のグループホームの方との話し合いの場を作ってください意見交換をさせていただきます。		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	夜間の職員の体制が少ない時間帯以外は、玄関の施錠はせずご利用者様がご自分の家庭のように自由に生活出来るように心がけています。身体拘束適正化のための指針を作成し運営推進会議内で身体拘束廃止委員会を設立しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	継続的に外部研修（リモート）に参加し、その資料を利用しミーティング等で話し合いをしたり、虐待や拘束にあたる内容を職員全員で確認できるようにしています。また、職員にむけてのアンケートを行い自己評価してもらう機会をつくっています。高齢者虐待防止のための指針に従い業務に当たるようにしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	資料などを入手し、必要時には関係者と話し合い、支援を行っています。現在、1人の入居者の方に後見人の方がつかれています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約に関してはご利用者様やご家族に入所時に説明を行い、ご理解いただくよう努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族にお電話でご要望をお聞きしたり、ご意見箱を設置したり、ご面会時や運営推進会議でも直接ご意見やご要望を聞かせていただいています。聞かせていただいたご意見はできるかぎり反映させていただきます。		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	1ヶ月に1度のホーム全体のスタッフミーティング等で職員の意見や提案を聞き、できるかぎり反映できるように心がけています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の努力や実績、勤務状況を把握しそれを基に個々に評価するように努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	各自のレベルに合った研修に積極的に参加を促し資格(介護福祉士・介護支援専門員)を習得するようにアドバイス・援助もしています。外部研修を受けるばかりでなく、日頃のケアを見直すきっかけとなるように先輩から後輩にアドバイスしたり、本や研修動画などを使って勉強するように心がけています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	包括支援センター主催で同じ地域のグループホームの方との話し合い、意見交換をさせていただいています。今年度は地域のサービス事業所と災害時の机上訓練を行い地域の連携を図っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入所前にご本人やご家族に面会し普段の様子やご要望など細かくお話を伺っています。また、入所前の担当のケアマネージャーの方や主治医の先生にも情報をたくさんいただけるようにご協力頂き、職員間で情報を事前に共有し安心して入所いただけるように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入所前よりご家族からご要望等を伺い、何度も話し合いをしてより良い信頼関係が築けるよう努めています。入所にあたり不安がぬぐい取れない場合には、仮入所の導入もしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入所前にご本人やご家族に面会し普段のご様子やご要望など細かくお話を伺っています。また、入所前の担当のケアマネージャーの方や主治医の先生にも情報をたくさんいただけるようにご協力頂き、職員間で情報を事前に共有し安心して入所いただけるように心がけています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご利用者様と一緒に時間を過ごしながら喜怒哀楽を共にし、また人生の先輩として色々教えて頂きながら暮らしを共にする者同士の関係を築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご利用者様により良い支援が出来るようご家族と職員とのカンファレンスを行いご要望やご意見を伺いケアプラン等に活かしています。面会時にも色々なご意見やご要望を伺っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族のご協力のもと自宅へ外出や外泊、またスタッフと近所のスーパーへの買い物や時にはご自宅周辺へ出掛けられるよう支援しています。またホームへ近隣のお友達やお知り合いの方に気軽に遊びに来ていただくようにお声かけをさせていただいています。		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	毎日の日課として出来る方を中心に家事へ参加していただいたり、2F、3F共同でレクリエーションをしたりフロアを気軽に行き来できるよう心がけています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了しても必要に応じてお手紙・電話等にてご連絡をし、またご要望があればいつでも支援できるように努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お一人お一人の生活スタイルを大切にその方に合わせた日課の構築に努めています。常にご本人様の立場になって考えられるよう努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時よりご本人様のこれまでの生活歴等できるだけたくさんの情報収集を行ったり、日々の生活の中での会話でお好きな物や趣味などを伺い、毎日の生活に生かせるよう配慮しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	職員は毎日の生活の中でバイタルや水分・食事量や排便のチェックによる健康管理を行い、観察等により心身状態を把握するように努めています。		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	介護計画は入所時より定期的に作成しています。ケアカンファレンスにはご本人、ご家族、主治医、薬剤師等の意見を反映させ、状況に応じて話し合いを設け柔軟に変更できるようにしています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子をしっかりと把握できるよう薬、歩行状態、体調の変化等を記載し職員間で情報を共有しより良いケアの実践に活かしています。また一ヶ月毎にモニタリングをおこない、介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	母体の医院と連携をはかり、必要時に往診や通院も出来るようにしています。その他にも(整形外科・皮膚科・歯科・眼科)などの多様な科の先生に往診していただき診察していただいています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	町内の方にお手伝いいただいて行事を行ったり、町内主催の催し物に参加させていただいたりしています。また同じ区の警察や消防の方とも連携をはかり安全に生活できるよう支援しています。今年度は地域のお祭りに参加させていただきました。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご利用者様、ご家族様の納得された先生に主治医になって頂いています。母体の医院や歯科医、整形外科医、皮膚科・眼科の往診も定期的に行われています。又必要に応じて受診の支援もしています。		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	母体の医院にご利用者様の情報を1日1回送り、主治医の指導をうけ健康管理をしています。職員はいつでも母体の医院に相談出来る体制が整っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が安心して治療を受け早期に退院できるようにに母体の医院と入院先の病院との連携が出来ており職員も指導を受けながら受け入れの体制を整えています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ホーム入所時にご家族にターミナルケアについてお話をしています。また重度化した場合、主治医よりご家族へ状況説明を行いご家族の意向をお聞きし今後の方針をきめさせていただいています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変の場合は必ず母体の医院に連絡し支持を仰ぎ、往診もしていただいています。またAEDを設置し緊急時に使用できるようにになっています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	ホームでの火災訓練は年2回行っていきます。町内会と災害相互応援協力協定書を交わし災害時の協力体制を強化しています。3月に地域の介護サービス事業所と災害時の机上訓練を行いました。		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お一人お一人を尊重し、言葉かけや対応についても親しみの中にも節度ある言葉遣いを心掛けたり、誇りやプライバシーを損ねないように十分に配慮するようにしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	いろいろな場面でご本人の思いや希望をお聞きし、日常を送って頂くようにしています。難聴などによりコミュニケーションが難しいご利用者様にも、筆談やスキンシップをはかり、職員が思いや希望を表せるように働きかけ、自己決定出来るように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	お一人お一人の生活リズムを把握し、起床や就寝時間もその方のペースに合わせて、お食事の時間も変更しゆっくり食べて頂けるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	お化粧・髭剃り・整容・ネイルケアなど、その方にあった支援をしています。理・美容院についても、希望時になじみの美容院へ行っていただいたり訪問美容の方に来ていただいたりしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の盛り付けや味見、後片付けなどに参加して頂いています。主食はご飯やお粥、またパンなど個々に合わせたお食事をご用意させて頂いています。また嚥下の良くない方にはミキサー食を提供しています。ご利用者様のリクエストを伺いメニューに反映させています。		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日新鮮な食材と食べやすい食材を使用して味や栄養バランスを考えて手作りしています。水分補給については、毎日何をどのように摂取されたか嗜好も考慮し水分管理表を作成し記載しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>歯科医師とも連携をはかり、お一人お一人に合わせた口腔ケアに関する指示を頂き利用者様と一緒にケアに取り組んでいます。義歯洗浄剤使用も個別に合わせて対処しています。1ヶ月に2回歯科の往診で専門的な口腔ケアをしていただいています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>職員は個々のご利用者様の排泄間隔やパターンを理解し、夜間も出来る限りトイレでの排泄を心がけています。また、排泄時にプライバシーに配慮した声掛けや介助を行っています。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便表を作成し個人記録と共に毎日チェックしています。軽い運動や排便に繋がる飲食物の提供などお一人お一人に合った支援を行っています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>順番や曜日等決めず、お一人お一人のご希望を取り入れながら入浴して頂けるように支援しています。季節を楽しんで頂けるようにゆず湯を実施したり、入浴剤なども使用しています。入浴のない日には足湯をしていただいたりしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の生活習慣に合わせ、夜間のみでなく日中も安心して休息出来るように対応しています。体調不良時にも、少しでも安楽に過ごせるように室温や湿度等の管理も行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	一週間のお薬をお薬カレンダーで管理し、全職員が確認できるようにしています。また、既往歴や服薬内容は個別ケースに管理し情報の共有が図れるようにしています。毎週、薬剤師に個々の服薬状況・体調確認などを行なって頂いています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ご本人様の生活歴や力を活かせる役割をもてるように支援しています。出来る限りご本人のご希望や趣味に合わせ、お散歩や日光浴、塗り絵や手芸、脳トレや料理等をして頂いています。また生け花教室を開催しお花のお好きな方に参加いただいています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	お一人お一人のご希望に合わせて、近所に買い物に出かけられたり、屋上や近くの公園へ散歩に出かけたり、平和公園や宇品港などへドライブに出かけたりもしています。また帰宅願望のある方には家の前まで一緒に行き、安心につながる様に支援しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	現在はご自身がお金を持たれている方はいらっしゃいませんがご本人様が安心してご自分でお買い物出来るように職員が支援しています。		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人様のご希望時にご家族に電話をかけたり、お手紙を出せるように支援しています。ご本人様が携帯電話を持たれている方は自由にお電話して頂いています。また、毎月写真等も添えてお手紙をご家族送り、ご利用者様の様子をお伝えしています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関や廊下の壁面を利用し季節感を感じられるように飾りつけを行っています。ご利用者様のくつろぎの場所である食堂やソファ等の共用の空間は換気や湿度調整を行い、音楽を流し、快適にリラックスして過ごして頂けるようにしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	廊下のソファや食堂席を上手に利用し、独りになられたり、気の合った利用者同士で過ごしていただけるように工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入所時にご自宅で使い慣れた物を持参して頂いたり、ご家族の写真を飾って頂いたり、ご自宅の住み慣れたお部屋に近い状態で過ごして頂けるように工夫しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	廊下やトイレには手すりを設置をし、ホーム全体がバリアフリーの配慮をしています。個々の居室入口に目印をしたり、トイレや洗面所にも案内プレートを設置しご利用者様が迷われないように工夫しています。		

V アウトカム項目(2Fユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームもみじの里

作成日 令和7年6月20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議にコロナ以降参加が無いためご本人やご家族の意向が伺えない。	今年度中一度でもご家族の参加をお願いします。	個別にお電話で確認させて頂く。	1年
2	18	利用者の外出の機会が減っている。	ご家族やボランティアの方などと外出の機会を増やす。	お花見等季節の行事を少人数でもご家族と一緒に出来るように企画する。	1~2年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。